

新能

2016
第18回
しまなみ海道

能「屋島」



大山祇神社 (大山祇神社特設能舞台)

愛媛県今治市大三島町宮浦

※雨天時は今治市伯方開発総合センター(旧伯方町民会館)で実施

※会場変更は午前中に決定。



観世 喜之



茂山 あきら



観世 喜正

平成二十八年 7月23日(土) 午後5時45分開演
(開場5時)

一般前売り 6,000円 (全席自由) (当日7,000円)
高校生以下前売り 1,000円 (全席自由) (当日1,000円)

※「2016 第18回しまなみ海道新能」のチケットをご提示いただくと、平成28年7月23日(土)、24日(日)の2日間に限り、下記施設の観覧料が無料になります(裏面の地図をご参照ください)。

■大三島美術館、ところミュージアム大三島、伊東豊雄建築ミュージアム、岩田健母と子のミュージアム、村上三島記念館、村上水軍博物館



狂言「千鳥」

入場券発売所

愛媛新聞旅行、愛媛新聞社の県内支社・エリアサービス(取り寄せ)、今治市役所福利厚生会、今治市大三島支所の産業建設課、大山祇神社、いよてつ高島屋、コープえひめ生活・文化サービス、JTB中国四国松山支店、ローソンチケット、チケットぴあ ほか

鑑賞バスツアーのご案内



ご旅行代金 ●中予から 8,000円 ●東予・南予から 9,000円
●広島・尾道から 11,000円

(入場券6000円別途必要、ツアーお申し込み時にJTBでご購入ください。購入後入場券のキャンセルはできません)

旅行企画・実施 株式会社JTB中国四国 定員200人
バス代・夕食弁当代・添乗員費用を含む 申込先着順

資料請求先 JTB中国四国 松山支店 TEL:089(943)3321

※この広告ではお申し込みを受け付けておりません。資料(パンフレット)を当社までご請求ください。

主催/愛媛新聞社

共催/今治市

協力/今治商工会議所、しまなみ商工会

協賛/今治造船株式会社、大玉製紙株式会社、伯方塩業株式会社、四国ガス株式会社、四国通建株式会社、株式会社新来島どっく、榑垣造船株式会社、一広株式会社、(公社)今治地方観光協会、(一社)今治市医師会、今治プラザホテル株式会社、今治ヤンマー株式会社、伊予銀行、潮冷熱株式会社、渦潮電機株式会社、愛媛銀行、愛媛信用金庫、越智今治農業協同組合、コンテックス株式会社、四国タール工業組合、四国溶材株式会社、第一印刷株式会社、原印刷株式会社、真鍋造機株式会社、マルマストロク株式会社(順不同)

後援/愛媛県、今治市教育委員会、尾道市、瀬戸内しまなみ海道振興協議会、(公社)愛媛能楽協会、中国新聞社、四国新聞社、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、今治CATV、FM愛媛、FMラヂオバハリ

神前奉納

午後四時

薪能

第一部

午後五時四十五分～六時十五分

解説

石原 昌和ほか

第二部

午後六時半～八時半

舞囃子

海士

観世 喜之

大村 滋二
荒木 建作

前川 光長
杉 市和

山中 雅志
弘田 裕一
長山 禮三郎
桑田 貴志

千鳥

狂言

茂山 あきら

丸石 やすし
茂山 童司

増田 浩紀

屋島

弘田 裕一
観世 喜正

能

殿田 謙吉

坂苗 融
御厨 誠吾

茂山 童司

大村 滋二
荒木 建作

杉 市和

間

長山 禮三郎
観世 喜之

山中 雅志
井戸 良祐
桑田 貴志

林 宗一郎
浦田 保浩
坂口 貴信

付祝言



解説

舞囃子 海士

房前大臣は、生母の地・讃州志度の浦に着き、一人の海士の話を聞く。唐土から渡された三種の宝玉の一つが竜宮に取られる。これを惜しんだ淡海公が、この浦の海士と契りを交わし玉の奪還を依頼すると、海士はその命を犠牲にして玉を取り返し、その功によりその子は房前の大臣になったと語った。その海士こそ房前の母の霊であった。今年まさに13回忌、追善を営み亡母の冥福を祈ると、母は竜女の姿で現れ法華経の功德で成仏したと喜びの舞を舞う。

狂言 千鳥

支払いの滞っている酒屋で酒を取って来いと命じられた太郎冠者は、話し好きな酒屋の主人に津島祭りに行くと土産話を始める。酒樽を千鳥に、また山鉾に見立てさせたりして、なんとか持ち逃げしようとするが…。太郎冠者、苦勞の一番。酒屋と太郎冠者の駆け引きが面白い。最初に話す「浜千鳥の友呼ぶ声は、チリチリヤチリチリ…」千鳥を伏せて取るところからの曲名。

能 屋島

屋島での源平の合戦の様相—義経の立派な大將軍のいで立ち、景清と三保谷の鏝引、佐藤継信と菊王丸の壮烈な最期—を旅僧に語った漁師は、義経の幽霊であった。やがて僧の夢の中に甲冑姿で現れた義経の幽霊は、まだ屋島に執心が残っていると語り、落とした弓を取られまいと身の危険も顧みず拾い上げた弓流しの様や修羅道での戦いを見せたかと思うと春の夜は明け夢はさめ、浦風の音が聞こえるのみ。詞章に合わせての型の連続、見どころ聞きどころの多い名曲。
平家物語卷ノ十一、「大阪越の事」「嗣信最後の事」「那須与一の事」「弓流しの事」の一読をお勧め。そして壇の浦へと続く。能で源平合戦の勝戦は本曲と「籠」の二曲、後は平家の公達や武将達の負戦物語。

【お客様へのご案内】 特別舞台のため、座席表が変更になる場合があります。座席はすべてパイプイスです。快適にご鑑賞いただくため、座布団をご持参されますようお願いいたします。

お問い合わせ 愛媛新聞社読者事業部 TEL 089-935-2355